



号外

2021年7月12日

桜ヶ丘第一保育園

☎ 042-374-3098

FAX 042-374-2828

URL kodama-kai.org

おしらせ

4度目の緊急事態宣言発令！！

7/7の七夕の夜に、東京都に4度目の緊急事態宣言を発令する準備で政府が調整している報道がされ、7/8に正式に決定しました。期間は、7/12～8/22までの6週間。まん延防止等重点措置からの移行という流れになります。

七夕の短冊の願い事の中には、子ども達の願い事がたくさん。『美味しいものをたくさん食べたい！』『アンパンマンにあえますように』『動物園に行けますように』など。また大人の願いにも、『家族で旅行をしたい！』『早く普通の日常に戻れますように』『笑顔の溢れる世の中へ』と、願い事がいっぱい！！この願い事をよく見ると、早く新型コロナウイルスから解放され、みんなと一緒に美味しいものを食べに行ったり、旅行にでかけたりできる、“普通”の生活を望むものばかり。例年だと、『大きくなったら〇〇になりたい！』という願い事が多いのですが、今の状況が反映されていますね。子ども達ももっと大きな夢が持てる生活になるよう、私達大人の行動が求められているように思います。

(ウラ面をご覧ください)



感染対策の徹底のお願い

4度目の緊急事態宣言が発令され、保護者の皆様も、うんざり・・・、といったところが正直な気持ちではないでしょうか？

今回、これまでになく長い期間がとられているのは、オリンピック開催（いろいろな意見がありますが）に加え、夏休みの期間中、またお盆もあり、人の動きが多くなることが予想されての決定のようです。こんな状態で、国際的な大会を行い、国民には自粛を要請する、なんとも“矛盾”した感じがぬぐい切れませんが、ウイルスも生き残るために、変異を繰り返し私たちに襲ってきます。政府に助言する感染対策の専門家によれば、8月初め頃には感染者数が4,000人に達し、今置き換わっている35%の“デルタ株”が、8月末には“デルタ株”にほとんど置き換わるのではと伝えています。デルタ株は、従来のウイルスより感染力が強いとされていますので、より注意が必要になってくるようです。

緊急事態宣言になると、いつもクローズアップされるのが“夜間の飲食・飲酒”で、原因の一つではありますが、すが、大事なものは“人の流れを抑える”事。政府が出している最初のメッセージの出し方が、私たちに誤解を生むようなとらえ方になってしまっているようにも感じます。

そうはいつでも私たちは、毎日生活をしていかななくてはなりません。皆さんが日常の生活を送るためには、保育園は不可欠な存在です。保育園に通ってくる保護者の皆さんの住まいは、ほとんどが多摩市内ですが、職種・職場等で様々な場所に散らばり、保育園に集まってきます。このことを考えれば、もう一度気持ちを引き締め、①マスク着用②手洗いの徹底（手指消毒）③園内の滞在時間の短縮等、これまで行ってきたことを徹底していただくようお願いいたします。
保育園も、職員のマスク着用、手洗い、換気、園内・遊具消毒等、これまでの対策をもう一度徹底し、同時に今行っている職員のワクチン接種を7月末完了を進めていき、感染対策を行っていきます。

これから、夏休みが入り、ご家庭の中でも、様々な計画を立てられているかと思います。お子さんの発達を考慮に入れ、無理のない楽しい夏を過ごせるようにするのはもちろん、感染対策の視点からも今一度検討していただき、見直せるといいですね。

RS ウイルスが流行しています。

今年は、同じ感染症でも全国的に“RS ウイルス”が流行していて、多摩市内も増えているようです。症状は、発熱・鼻水・咳や喘鳴などが出てきます。昨年はコロナ対策で、RSが流行らなかった分、昨年かからなかったお子さんもおかかっているようで、感染者数が増えているようです。症状からみて、新型コロナとよく似ているため、安易に判断せず、症状が出ていれば、重症化にならないように早めの受診、体調がよくなってから登園するなどの対応をお願いします。また、どのような病気も共通ですが、体調不良等の場合は無理せずお休みするか、病児保育室の利用も考え、体制を整えておくことをお勧めします。

7/16 年長の“夕涼み会”は実施します

緊急事態宣言が出されたことに伴い、7/16に予定している年長の“夕涼み会”を心配されている保護者の方も多いかと思います。園では、“まん延防止等”が延長されても、感染対策をしっかり行い、安全に行えるよう準備をしてきましたので、緊急事態宣言が出ましたが、予定通り実施いたします。

園としても、一層感染対策には気を付けながら、子ども達が楽しい体験ができるよう進めていきたいと思えます。